

臨床検査技術学科評価表（2023年度）

1. 学校(学科)の教育目標

(1) 国家試験について

第70回国家試験の新卒者合格率は88.9%で、全国平均(76.8%)より上回り、昨年(88.6%)より合格率は向上した。今回の結果は、第68回における合格率の低下を踏まえ、学生の進級及び卒業基準について学内国試対策試験結果が合格ライン前後の学生に対し指導を注力する事により、向上したと思われる。今後も、教員一同、国家試験対策は、毎年の学生状況をきめ細かく分析しながら個別に指導し、全員合格を目標とする。

具体的な対策として、学生の国試対策への意識レベルを早めに高めるため国家試験直後の学生アンケート、「在校生に向けてのアドバイス」をC-ラーニング上に掲載し、国家試験準備に関するアドバイスを閲覧させて出来るだけ早い時期に国試対策への意識向上を目指す。

また、春休み期間中には、主要7科目の問題資料をC-ラーニングにより課題として送り、新年度にその内容についてテストを行う事で、学生個人の学習の現状を客観的に判断し、3年生からの個々の指導に活かすことにも取り組む。

(2) 就職・進学に関して

23年度卒業生の就職率は3月末現在で84%である。今後も学生の希望に添った就職、進学ができるように就職担当教員が入試キャリア支援室と連携しながら支援する。就職試験対策として、小論文の評価が合否に直結する事が多いことから、1年生からキャリア支援室のスタッフと共にコミュニケーション学、キャリアデザイン学や文書表現学について注力して学習させる。また、就職に対する意識を常に持たせるために、常に学生の就職相談に対応する体制を作る。

(3) ドロップアウト者について

中途退学者は、1年生8名、2年生は9名、3年生は1名であった。退学理由の内訳は心身疾患などの体調不良、進路変更、学力不足であった。体調不良者への対応は、個人や保護者面談を通じてカウンセリングの紹介を行った。退学者減少に向けてできる限りの対策を行う。

(4) FD について

臨床検査技師関連学会主催による医学検査学会や各種専門学会・各種研修会などへ積極的に参加し、専門分野の研鑽を行うと共に最新の教育に関する情報共有に努める。また、タスクシフトへの対応及び臨床検査技師育成に関する学会での発表も継続的に行う。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 財務体質の安定化

① 効率的な人材配置

常に業務に集中できる環境を念頭に、必要に応じてお互いの業務をフォローできる体制も構築し、インシデント防止や体調不良を起こさないように配慮した人材配置を行う。

② 経費削減

学科全体として予算内に収まるよう経費を策定し、常に経費削減を念頭に置きながら活動する。また、教育に関わる検査試薬等のコストも常に見直しながら経費削減に努める。

(2) 組織構造の改善

① 組織構造の改善

学園内でのコンプライアンスの徹底、教員のインテグリティの向上を目指す。社会情勢や

学生の多様化に対応した組織構造の改善を行う。毎朝ミーティングを実施し、当日の授業内容や外部講師等の確認を行うと共に各自の業務内容の確認を行う。

②情報の共有化

Cラーニング導入に伴い組織内での授業資料の電子化を含め情報共有を強化し相互理解を深める。毎週行う学科会議では、各学年担任と教科担当者及び事務局との情報共有や指導状況を報告し、各種学事についても確認する。

③新型コロナウイルス対応

今年度5月からの新型コロナの五類移行に伴い、引き続きインフルエンザ対策と同様に感染対策を行う。

(3) 国家試験合格率

国家試験合格率を高水準に保つことが学生数の確保に直接つながることから、最優先事項として対応する。国試対策として、個別に学習方法を指導する事や、基礎知識の定着を目指して3年後期より毎日朝テストを行い同日授業終了後に解説を行った。

模擬試験結果等が低い学生には、担任が面談や科目別に冬期補修を行うなど、きめ細かな指導方法を取り入れた。卒業発表後、国家試験対策補習として、専任及び非常勤講師による模擬試験を国家試験直前まで行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目的、人材育成

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①教育理念・教育目的・育成人材像は明確に定められているか	④	3	2	1
②学校における職業教育の特色は明確になっているか	④	3	2	1
③教育理念・教育目的・育成人材像が生徒・保護者等に周知されているか	④	3	2	1

①課 題

教育理念、目的、育成人材像については、入学前には入学案内、入学後は学生便覧、新入生保護者説明資料、学園報掲載等で学生及び保護者に周知を行っているが、意見交換等はできていない。

②今後の改善方策

学生及び保護者から「教育理念、目的、育成人材像」について意見、質疑を聴く機会を設けることが難しいため、Cラーニングを利用しアンケート方式で意見を伺う。

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①教育方針や教育目標等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
②運営方針に沿った事業計画（人事・財務・教務）が策定されているか	④	3	2	1
③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④	3	2	1
④人事・給与に関する制度が整備してあり有効に機能しているか	④	3	2	1
⑤業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
⑥教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
⑦情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	④	3	2	1

①課 題

- i 利害関係者からの苦情等について対応は確立されているが、近隣からの学生に対する苦情については、毎年多く根本的な改善に至っていない。
- ii 情報ネットワーク環境が整備され、eラーニングも利用できる。学生指導も行っているが、データが紙ベースでありデジタル的な在学期間中の統合的なシステムではない。

②今後の改善方策

- i 毎年のガイダンス時に学生へ注意を行う。
- ii 今後学生一人ひとりの情報を管理できるデジタル的な統合システム導入を考える。

(3) 教育活動

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
②修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
③教育理念・到達目標に沿った教育課程は体系的に編成しているか	④	3	2	1
④講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	④	3	2	1
⑤学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	④	3	2	1
⑥職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
⑦キャリア教育を実施しているか	④	3	2	1
⑧成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確化し、適切に運用しているか	④	3	2	1
⑨資格取得の指導体制が整備され、適切に運用されているのか	④	3	2	1
⑩人材育成目標の達成に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
⑪関連分野における優れた教員を確保するための活動が行われているか	④	3	2	1
⑫先端的な知識・技能等を修得するための研修や教職員の指導力育成など資質向上の取組が行われているか	④	3	2	1
⑬教員の組織体制が整備され、適切に運用されているのか	④	3	2	1

①課 題

若手教員育成への対応。

②今後の改善方策

学科だけでなく、教職員の教育の質を高めるには学園全体の情報共有が必要である。

③特記事項

学科の特色について SNS やホームページ等を活用して積極的に PR している。

(4) 学修成果

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
②資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
③入学者に対する卒業率はどうか	4	③	2	1
④実習委託をする場合、その目的、要望事項等及びそれに対する評価項目の依頼を明確にしているか	④	3	2	1

⑤インターンシップについて、依頼先の担当者と十分なコミュニケーションをとり、依頼した評価法どおりに評価されているか	④	3	2	1
---	---	---	---	---

①課 題

中途退学者をできる限り少なくする指導及び、国家試験合格らの就職活動への迅速な対応と就職試験合格率の向上。

②今後の改善方策

学生個々に向き合った学習指導と、就職試験対策についての指導を綿密に行う。

③特記事項

キャリアサポート室との連携を密にしながら即戦力に対応できるように取り組んでいる。
 臨地実習前に、実務に近い臨地実習前技能到達度評価を取り入れ、学生がスムーズに臨地実習に対応できるように図ると共に、現場を通して医療人として認識させる指導を行った。

(5) 学生支援

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①進路・就職に関する支援体制は整備され、学生や保護者に周知されているか	④	3	2	1
②学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
⑥学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
⑦保護者との連携は適切か	④	3	2	1
⑧卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	④	3	2	1
⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

①課 題

特になし

(6) 教育環境

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
②実習室の機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
③学校施設・機器備品等が定期的に管理・点検されているか	4	③	2	1
④図書室及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	④	3	2	1
⑤防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

①課 題

生化学自動分析機等の医療機器の購入や維持管理に経費がかかるが、今後も老朽化した機器に対する対応が重要である。

②今後の改善方策

新カリキュラムに対応した実習環境の整備と ICT 教育を導入した計画的な予算の執行。

③特記事項

現存の生理系検査機器や形態学的な実習機器で実施できた。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①高等学校に対する情報提供等の取組が行われているか	④	3	2	1
①学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
③学生納付金は妥当なものとなっているか、入学辞退者に適正な取扱いを行っているか	④	3	2	1
④生徒募集の効果と実績を検証しているか	4	③	2	1

①課 題

学生募集活動に関する計画や内容の検討は年度前に行われているが、入学者数が定員を満たしていないので、今後は、さらに原因を精査して定員を満たすよう教職員全体で取り組む。

②今後の改善方策

入学者減少の歯止めを掛けることが最優先事項なので、入学実績のある高校を中心に積極的にPRし、オープンキャンパスなど広報イベントの内容等をさらに充実させて効果を検証していく。

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
③予算及び計画に基づき適正な執行管理を行っているか	④	3	2	1
④財務について会計監査が適切に行われているか	④	3	2	1
⑤財務情報の公開の体制準備はできているか	④	3	2	1

①課 題

特になし

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
③自己評価の実施と問題点改善に努めているか	④	3	2	1
④自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1
⑤学校関係者評価を実施して評価結果を公開しているか	④	3	2	1

①課 題

特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1

①課題

ボランティア活動等への理解度を高める。

②今後の改善方策

臨床検査技師会研究班の行う各種生理検査を湘中央学園で行うことにより学生の意識レベル向上に役立つ。今後も関連イベントには積極的に参加したい。また、各種医学生物学関係の資格取得についても対応したい。

③特記事項

検査関係のNPO法人の活動を授業に取り組み紹介している。地域清掃活動、交通安全活動やオープンキャンパスナビゲーター、客観的能力試験の被検者等に学生がボランティアとして協力している。